

令和2年1月2日 00463号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。

令和2(2020)年は、東京オリンピックが開催され、日本中が歓喜あふれる一年になることと思います。武道では、柔道や空手道が協議種目となり、日本選手の活躍が期待されています。このオリンピックを通して、「礼に始まり礼に終わる」といった、「日本武道の心」が、世界に広まってほしいと願うところでもあります。

さて、北見市武道館は供用開始から8年を迎え、多くの利用者様にご愛用頂いております。

お陰様で、昨年度の利用人数は6万人を大きく超える運びとなりました。これもひとえに、皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

これからも、武道館指定管理者として誠心誠意、武道振興に努めてまいりますので、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

今年一年が、皆様にとりまして、ご健勝でご活躍されますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

NPO 法人北見市武道振興協会代表理事

北見市武道館施設長 佐藤壽春



鶴と亀

昨年、12月11日(水)・13日(金)北見市東陵中学校の「2年A組」と「2年B組」が、北見市武道館を使用して「武道必修体育(柔道)授業」を行いました。すでに基本の「うけみ受身」や「なげわざ投げ技・おさえわざ抑技」を体得している2年生は、



お互いが、自由に技をかけあって、攻防を楽しむ安全な柔道稽古を行うなど気持ちのいい汗を流していました。また、恒例となった「鶴と亀」では、紅白(男女混合)に分かれ作戦会議をする様子は、仲の良い団結力も垣間見ることが出来ました。なお、令和2年「北見市東陵中学校」の柔道武道必修は、1月15日から、「1年A組」「1年B組」「1年C組」男女84名が授業を開始します。(佐藤)